SUZUKA CIRCUIT

MEDIA INFORMATION

2007.10.21 配信

2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第９戦　鈴鹿サーキット

Formula NIPPON 2007 11/17 予選 SAT. ・ 18 決勝 SUN.

鈴鹿サーキット国際レーシングコース　１周 5.807km

●大会名称：2007年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第９戦　鈴鹿サーキット
●同日開催：2007年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン（FCJ） 第17戦＆第18戦 ／ 2007年 西日本フォーミュラ4選手権シリーズ 第6戦
ホンダ エキサイティング カップ ワンメイクレース 2007 ～インテグラ・インターシリーズ～ 第6戦
●主　　催：鈴鹿モータースポーツクラブ（SMSC） ／ 株式会社 モビリティランド
●公　　認：国際自動車連盟（FIA） ／ 社団法人 日本自動車連盟（JAF）
●後　　援：東京中日スポーツ ／ 中日スポーツ ／ 中日新聞社

速報！

インディカートップドライバー、ブラジルの英雄　トニー・カナーン、インディジャパンを制した勢いで、フォーミュラ・ニッポン鈴鹿に参戦！

4月21日、ツインリンクもてぎでの「BRIDGESTONE INDY JAPAN 300 mile」を初制覇したトニー・カナーン選手

今年４月にツインリンクもてぎで行われた「ブリヂストン インディ ジャパン300マイル」（4月21日決勝）で優勝を飾り、最終戦まで激しい争いを続け、シリーズランキング３位に食い込んだブラジル人トニー・カナーン。2002年にインディシリーズデビュー以来、04年にシリーズチャンピオンを獲得するなど、これまで輝かしい戦績を残してきたアメリカのトップレーサーだ。自ら「世界最速のゴリラ」と称するほどの強靭な肉体を持ち、オーバルコースはもちろんのこと、ロードコースでも無類の強さを発揮してきた。そのカナーンが鈴鹿最終ラウンド（第９戦）でフォーミュラ・ニッポンに挑戦することが決定した。アメリカトップカテゴリーからの参戦としては97年から99年にインディライツ、CARTシリーズに参戦し、その後フォーミュラ・ニッポンにカムバックした服部尚貴、01年から04年までCART、インディカーシリーズに参戦、05年にフォーミュラ・ニッポンにカムバックした高木虎之介がいるが、シリーズチャンピオンに輝いた選手が参戦するのは初めてのこと。

フォーミュラ・ニッポンも鈴鹿サーキットもカナーンにとっては初めての経験となるが、カナーンがここまでの成績を挙げてきたのは「ロードコースに強い」こと、そして「セッティング能力の高さ」があったからといっていいだろう。それもカナーンが尊敬するのはブラジルの英雄、故アイルトン・セナが走った、そして勝利した「スズカ」を走ることは特別な意味があるはずだ。インディカートップの速さを、今度はF１の聖地鈴鹿サーキットを舞台に見せつけてくれるはずだ。同じ道程を歩んだ高木虎之介を始め本山哲、B・トレルイエ、小暮卓史、松田次生、A・ロッテラー、L・デュバルらの強豪たちを相手にどんな戦いぶりを披露してくれるのだろうか、フォーミュラ・ニッポン、スズカ・ラストバトルは世界が注目する１戦となった。

Tony Kanaan
【トニー・カナーン】

●1974年12月31日生まれ
●ブラジル、サルバドール出身

02年　第５戦（インディ500）でIRLデビュー。
03年　第２戦で初優勝を記録。
04年　３勝、２位６回を記録しシリーズチャンピオン獲得
05年　シリーズランキング２位
06年　シリーズランキング６位
07年　インディジャパン初優勝 シリーズランキング３位

株式会社 モビリティランド　鈴鹿サーキット　〒510-0295
三重県鈴鹿市稲生町7992　TEL（059）378-1111　URL http://www.suzukacircuit.jp/